

第30期

中間事業報告書

2001年4月1日から2001年9月30日まで



ローランド株式会社

財務ハイライト

9月30日に終了した6ヶ月間
単位：百万円(1株当たり金額を除く)

連結	当中間期	前中間期
売上高	29,270	28,825
経常利益	334	920
中間純利益	-146	282
1株当たり中間純利益(円)	-5.74	11.06
総資産	67,860	64,534

単独	当中間期	前中間期
売上高	13,945	15,169
経常利益	180	344
中間純利益	485	364
1株当たり中間純利益(円)	18.98	14.25
総資産	47,372	47,331

ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう BIGGESTよりBESTになろう 共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記3つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。これからのローランドにどうぞご期待ください。

目次

- 01 | 株主のみなさまへ
- 02 | 営業の概況(連結)
- 03 | 業績の推移(連結・単独)
- 04 | 新製品紹介
- 08 | トピックス
- 10 | 中間貸借対照表(連結)
- 11 | 中間損益計算書(連結)
- 12 | 中間貸借対照表(単独)
- 13 | 中間損益計算書(単独)
- 14 | 事業所
- 16 | 企業データ
- 17 | 株主情報

株主のみなさまへ



取締役社長 檀 克義

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当社第30期上期（2001年4月1日～同年9月30日）が終了いたしましたので、事業の概要および中間決算につき、ご報告申し上げます。
当中間期の業績につきましては、国内における個人消費低迷と需要動向の変化等により、厳しい内容となりました。従来より長期に保有される株主のみなさまに報いるため、利益水準を考慮しつつ高配当に努め、特にこの3年間は年間25円配当を維持してまいりましたが、今期予想における当期純利益の厳しい水準および配当性向を勘案の上、遺憾ながら年間で5円減配し年間20円（中間10円）配当とさせていただきます。
下期も厳しい状況ですが、さらに全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも、株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2001年12月

営業の概況(連結)

当中間期の概況

当中間期の経済環境は、国内景気の低迷に加えて米国景気の減速により内外ともに厳しさが強まりました。電子楽器事業は、北米市場は堅調に推移したものの、国内における個人消費低迷と需要動向の変化等により厳しい状況を余儀なくされました。一方、コンピュータ周辺機器事業は国内外の売上高が堅調に推移し、特に欧州において伸長したため増収増益となりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
2001年9月期	29,270	412	334	△146	△5円74銭
2000年9月期	28,825	897	920	282	11円06銭
増減率	1.5%	△54.0%	△63.6%	—	—

事業別営業の概況

【電子楽器事業】

日本においては、カラオケ・遊技機向けのOEM音源及び携帯電話向け着信メロディーサービスが大きく売上を伸ばしましたが、シンセサイザー等の電子楽器及び電子ピアノ等の家庭用電子楽器等の伸び悩みのために売上高は前年同期を下回りました。

北米においては、シンセサイザー、デジタルレコーダーが伸び悩んだものの、デジタルドラム等が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

欧州においては、ユーロの対円相場の回復が収益に好影響をもたらしたものの、ドイツ、フランス等における個人消費の停滞の影響を受け、全般的に伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。

開発・生産面においては、開発体制と開発計画の見直しを主眼として2000年9月1日よりスタートした「NESプロジェクト」(New Euro Shift Project)の下で開発された電子楽器の新製品が売上の主力となりつつあります。国

内外での製造の分業体制をより強固にし原価の低減を図るため、7月に中国蘇州市に楽蘭電子(蘇州)有限公司を設立しました。

また、浜松研究所の増築が完了し、「音響リファレンスホール」を設置しました。様々なホールがもつ音響特性の再現を可能とする同ホールは、「空間音響」の基礎研究開発等に活用されています。

販売面においては、9月に日本ビクター株式会社の音楽教室事業ビクター・テクニクス・ミュージック(VTM)を継承して新たにローランドミュージックスタジオ(RMS)として発足し、国内各地の直営及び提携音楽教室数を約400から5,000以上へと増加させました。当社が1984年以来展開してきました音楽教室事業との統合により、新たに幼児から成人までのあらゆる年齢層に対応する音楽教室を展開いたします。

(単位：百万円)

	電子楽器事業		コンピュータ周辺機器事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2001年9月期	22,937	△147	6,332	560
2000年9月期	23,198	398	5,626	499
増減率	△1.1%	—	12.5%	12.3%

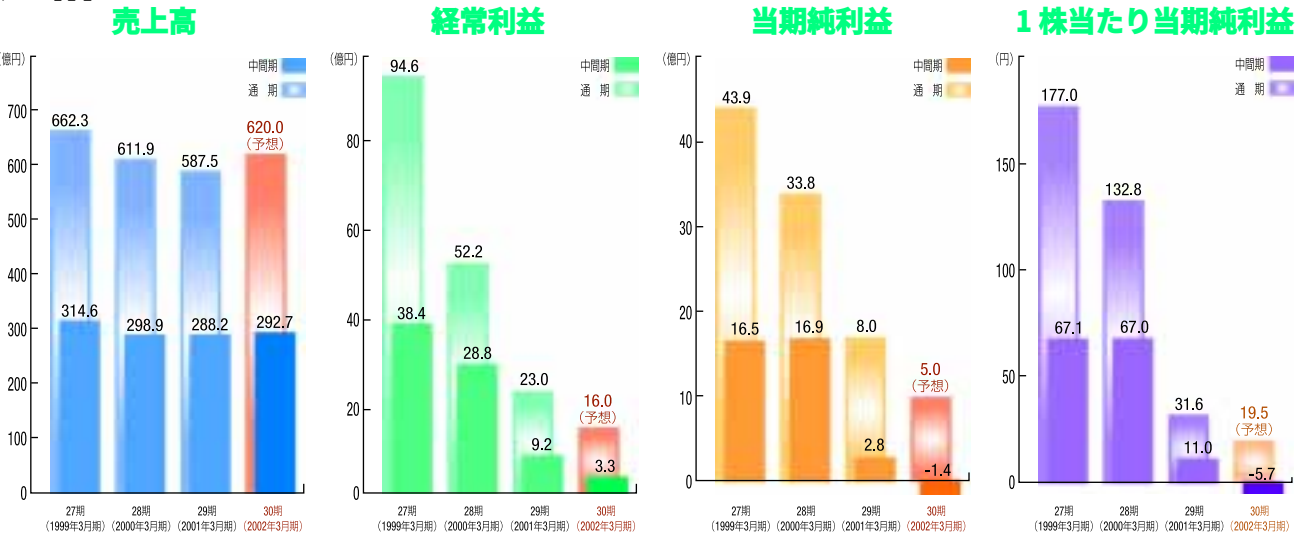
【コンピュータ周辺機器事業】

カラープリンターが引き続き順調に売上を伸ばし、インクなどのサプライ品も同様に好調でした。プロッタは漸減傾向にあるものの、三次元工作機器を主体とする業務用工作機器が売上を伸ばしました。

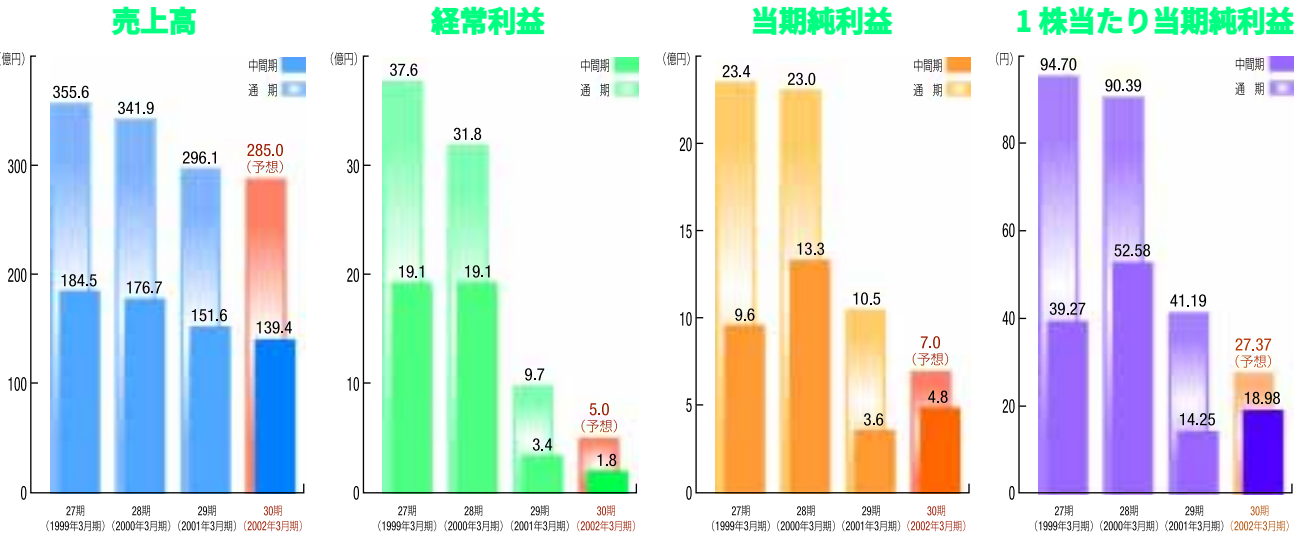
地域別の状況では、日本においては景気の低迷にも拘らず大型カラープリンターを中心に増収となりました。北米においても前期以来の堅調な需要を引継ぎ、欧州でも急激なユーロ安の悪影響を脱したため、各国において増収となり、北米に迫る売上規模に成長いたしました。

業績の推移(連結・単独)

連結



単独



注) 会計処理方法の変更により、2000年3月期よりロイヤリティー収入を売上高に含めて計上しています。

「シンセサイザー」 Fantom

シンプルな操作で高度な音楽表現力をコントロール

プロの現場で絶大な支持を得ている音源 XV-5080 の表現力を継承したハイ・クオリティなサウンドと、さまざまな演奏情報をグラフィカルに表示する大型ディスプレイ、シンプルに統合した操作系などのコンビネーションにより、これまでにない快適な音楽制作やライブ・パフォーマンスを実現できるシンセサイザーです。



Fantom



F-90

「デジタルピアノ」 F-90

インテリア感覚のシンプル＆コンパクトなデザイン

インテリア感覚のナチュラルな木目のメイプル仕上げで、家具と並べてもすっきり収まる奥行き 30cm のコンパクトなサイズです。あらゆるお部屋に美しくフィットします。コンパクトな外観に、ローランドならではの高品位なピアノ音、グランドピアノの自然で心地よいタッチを追求した「プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」、低音から高音まで迫力のあるサウンドをお楽しみいただける新開発の「ハイ・パフォーマンス 2BOX スピーカー」などを搭載し、ピアノとしての高いクオリティを備えた新感覚のデジタルピアノです。

「デジタル・ビデオ・編集機」

DV-7R

オールインワンのビデオ編集専用機

創造に集中できるリアルタイム性と操作性を兼ね備えた夢のビデオ編集専用機です。専用機ならではの安定性のもとに、ハイ・クオリティな作品制作が DV-7R だけで行えます。専用機のため、難解なパソコンの知識も必要なく、電源を ON にするだけですぐに編集がはじめられます。また、ほとんどの編集機器をメイン画面上から集中制御できる洗練されたユーザー・インターフェースです。編集素材の高画質を維持したまま取り込みから編集、出力までが行える最先端の総合型ビデオ編集専用マシンです。



DV-7R

「ミュージング ソナー・デジタル・スタジオ」

パソコンで CD 以上のクオリティの楽曲を制作できるパッケージ

最新の Windows 用高機能音楽制作ソフト「ソナー 日本語版」、USB 対応 MIDI 音源モジュールと USB オーディオ・インターフェースの機能を兼ね備えるサウンド・キャンバス・デジタル SC-D70、さらに接続に必要なケーブル類をセットにした、総合音楽制作パッケージです。

このパッケージを Windows パソコンに導入するだけで、他に機器を追加することなく、オーディオ CD 以上のデジタル・クオリティーで楽曲を制作することができます。また完成した楽曲は、MP3、WMA、RealAudio など様々なフォーマットでマスタリングできますので、インターネットを通じてオリジナル曲の配信を行いたい人たちに最適です。

注)記載されている製品名などの固有名称は、各社の登録商標または商標です。

SONAR Digital Studio



「ロジャースオルガン」 i577

音色・外観ともに気品と風格を備えたクラシック・オルガン

音色・外観ともに気品や風格を備え、さらに最新の電子技術を使い、2段鍵盤と32鍵フルスケールの足鍵盤を使って荘厳なパイプ・オルガン・サウンドが演奏できるクラシック・オルガンです。またローランド独自のRS S（ローランド・サウンド・スペース）技術による高品質の残響支援システムを本体に装備。あたかもヨーロッパの大聖堂で演奏しているかのような残響効果も設置場所に応じてきめこまかく調整することができ、豊かな響きを再現します。さらにオルガン・サウンド以外にも管楽器や弦楽器といったオーケストラ・サウンドも内蔵しており、多彩な演奏表現が可能です。



「ギター・エフェクツ・プロセッサー」 GT-6

快適操作のギター用マルチ・エフェクター

GT-6は、BOSS最強のギター用ペダラー体型マルチ・エフェクターです。ギターの音づくりに必要なさまざまなエフェクトを搭載し、ライブ／スタジオなど場所を問わず、いつでもベストなサウンドでプレイできます。また、過激なライブ・アクションにも安心してお使いいただける堅牢なボディは、鮮やかなシャンパン・ゴールド・カラーとなり、ステージでいちだんと映えるようになりました。

「デジタル・スタジオ・ワークステーション」 VS-1824CD

音楽制作に必要なあらゆる機能をオールインワンに搭載

当社は1996年発売の「VS-880」以来、ハードディスク・レコーディング市場におけるリーディング・カンパニーとして、新たな音楽制作スタイルを築き上げてまいりました。このデジタルレコーダー各機種は累計出荷台数26万台を数え、お客様より変わらぬご好評をいただいております。VS-1824CDはその中でもレコーダー、エフェクター、ミキサー各部でバランスの取れた機能を有する中級機にあたります。10GBの内蔵ハードディスク、CD-RWドライブを搭載しており、レコーディングからエフェクト処理、ミックス・ダウン、オーディオCDの作成まで、本体だけで高品位な音楽制作が可能です。



24-bit
DIGITAL STUDIO WORKSTATION
VS-1824CD

「バンドで行こう !!」

iモード対応端末503iシリーズを利用したミュージシャン育成型音楽ゲーム

好評のiモード着信音配信サービス「ローランド・サウンドギャラリー」、iアプリに対応した携帯電話カラオケ配信サービス「ローランド・ケイタイジューク」に続き、iモード端末503iシリーズでご利用いただける音楽ゲーム「バンドで行こう !!」を開始いたしました。バンドを結成し、資金稼ぎのアルバイトをしながらスタジオ練習で腕を磨き、ライブでの公演を目指すミュージシャン育成ゲームです。その他、着信メロディの試聴サービスなど、さまざまなサービスを提供しています。





ローランド ミュージック スタジオ株式会社スタート

ローランドが日本ビクター株式会社の子会社の音楽教室事業を継承し、2001年9月7日より社名を「ローランド ミュージック スタジオ株式会社」としてスタートいたしました。ローランドが1984年以来運営してきた音楽教室事業との統合により、新たに幼児から大人までのあらゆる年齢層に対応する音楽教室を全国的に展開いたします。

中国に製造会社 Roland Electronics (Suzhou) Co.,Ltd. 設立

中国における製造会社「楽蘭電子（蘇州）有限公司」（英語名：Roland Electronics (Suzhou) Co.,Ltd.）を2001年7月18日に設立。同年10月1日より操業を開始いたしました。新会社、楽蘭電子（蘇州）有限公司では、当社及び台湾の製造会社 Roland Taiwan Electronic Music Corporation の協力のもとに、キーボードアンプ及びギター関連商品等を生産いたします。



浜松研究所を増設

浜松研究所の増築が完了し、2001年6月11日に披露いたしました。増築棟は鉄骨2階建 約780坪（延床面積）。開発室、防音室、シミュレーションホール、音響リファレンスホールを設備しています。音響リファレンスホールは、残響の少ない音響特性になっており、残響が必要なときは当社独自のRSSシステムを駆使し、天井/壁/床にスピーカーが設置できるよう設計されており、音響実験、コンサート、レクチャーなど、多目的に使用できます。



ローランド ゴスペル・ミュージック プレジャー・コンサート開催

2001年5月に大阪・浜松・東京の3ヶ所で、ローランド芸術文化振興財団の主催による「ローランド ゴスペルミュージック プレジャーコンサート」を開催いたしました。ソウルフルな演奏と歌声で日本にも多くのファンを持つ、アメリカのオルガンプレイヤー/ヴォーカリスト、ドン・ルイス氏と、ロックグループのヴォーカリストとして活躍し、クリスチャンとしてのゴスペル音楽活動も続けている小坂 忠氏を迎え、ゴスペルミュージックの素晴らしさをご堪能いただくと同時に、オルガンをはじめとしたゴスペル・ミュージックを彩るローランドの楽器の魅力にも触れていただきました。



創立 25 周年 イタリアの製造会社 Roland Europe S.p.A.

10月25日、1977年にRoland Europe S.p.A.の前身となるSIEL S.p.A.をイタリアの同地でスタートしてから25周年となる事を祝い、パーティーが華やかに開催されました。同パーティーでは地元の市長、州知事をはじめ、銀行関係、部品のサプライヤーから協力関係にある欧州各国の関連会社社長まで、25年の間、協力関係をともに築き上げてきた関係者と社員計400名が一同に集い、25周年を祝い、今後のさらなる飛躍を誓いました。



創立 25 周年 オーストラリアの販売会社 Roland Corporation Australia Pty. Ltd.

ローランドの最初の海外関係会社であるオーストラリアの販売会社 Roland Corporation Australia Pty. Ltd. が、2001年4月1日に創立25周年を迎え、シドニー現代美術博物館で祝賀パーティーを執り行いました。祝賀パーティーには2001年の新製品プレミアも兼ね、200名を超える国内のディーラーの方々もお招きし、大きな節目である四半世紀を迎えたことを祝いました。



中間貸借対照表(連結)

		2001年9月30日現在	
		(単位：千円)	
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	41,671,262	流動負債	9,907,438
現金及び預金	16,225,438	支払手形及び買掛金	2,576,548
受取手形及び売掛金	7,834,469	短期借入金	3,050,261
製品及び商品	11,244,331	未払金	1,077,319
原材料及び貯蔵品	2,639,118	未払費用	1,273,694
仕掛品	913,992	未払法人税等	287,017
未収入金	1,696,491	預り金	113,901
繰延税金	1,128,904	賞与引当金	1,097,313
その他	500,331	その他	431,381
貸倒引当金	△ 511,816	固定負債	1,033,743
固定資産	26,189,332	長期借入金	164,292
有形固定資産	18,644,163	退職給付引当金	50,701
建物及び構築物	8,719,087	役員退職慰労引当金	305,412
機械及び装置	706,551	その他	513,335
運搬具	83,457		
工具器具備品	1,879,480	負債合計	10,941,181
土地	7,239,730		
建設仮勘定	15,855		
無形固定資産	1,139,871	(少数株主持分)	
ソフトウェア	611,860	少数株主持分	6,417,624
連結調整勘定	314,262		
その他の無形固定資産	213,748	(資本の部)	
投資その他の資産	6,405,297	資本金	9,274,272
投資有価証券	2,497,465	資本準備金	10,800,378
出資金	571,168	連結剰余金	31,212,430
長期貸付金	469,333	その他有価証券評価差額金	△ 134,430
破産更生債権等	93,902	為替換算調整勘定	△ 650,846
長期前払費用	125,101	自己株式	△ 16
繰延税金	223,802		
その他	2,519,167	資本合計	50,501,788
貸倒引当金	△ 94,643		
資産合計	67,860,594	負債少数株主持分および資本合計	67,860,594

中間損益計算書(連結)

		2001年4月1日から2001年9月30日まで	
		(単位：千円)	
(経常損益の部)			
営業損益の部：			
営業収益	29,270,720		
売上高	29,270,720		
営業費用	28,858,048		
売上原価	17,706,596		
販売費及び一般管理費	11,151,452		
営業利益	412,672		
営業外損益の部：			
営業外収益	193,969		
受取利息及び配当金	81,479		
その他	112,489		
営業外費用	271,705		
支払利息及び割引料	107,157		
有価証券評価損	56,342		
持分法による投資損失	9,435		
為替差損	65,926		
その他	32,843		
経常利益	334,935		
(特別損益の部)			
特別利益	320,994		
前期損益修正益	11,510		
投資有価証券売却益	4,719		
固定資産売却益	4,763		
私財受贈益	300,000		
特別損失	154,227		
固定資産除売却損	59,527		
その他	94,700		
税金等調整前中間純利益	501,702		
法人税，住民税及び事業税	440,912		
法人税等調整額	43,768		
少数株主利益	163,859		
中間純損失	146,837		

中間貸借対照表(単独)

		2001年9月30日現在	
		(単位：千円)	
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	18,354,799	流動負債	4,246,256
現金及び預金	9,381,666	買掛金	1,770,050
受取手形	933,271	短期借入金	1,000,000
売掛金	2,999,614	一年以内返済予定長期借入金	344
たな卸資産	3,055,520	賞与引当金	622,775
その他	1,997,327	その他	853,086
貸倒引当金	△ 12,600	固定負債	154,364
固定資産	29,017,745	長期借入金	7,977
有形固定資産	12,833,035	役員退職慰労引当金	132,200
建物	5,209,011	その他	14,187
機械及び装置	319,798	負債合計	4,400,621
工具器具備品	781,804	(資本の部)	
土地	6,286,111	資本金	9,274,272
その他	236,308	法定準備金	11,648,033
無形固定資産	376,175	資本準備金	10,800,378
投資その他の資産	15,808,534	利益準備金	847,654
投資有価証券	12,081,289	その他の剰余金	22,182,175
長期貸付金	788,856	任意積立金	21,344,948
その他	3,022,376	中間未処分利益	837,226
投資評価引当金	△ 79,565	評価差額金	△ 132,557
貸倒引当金	△ 4,423	その他有価証券評価差額金	△ 132,557
資産合計	47,372,544	資本合計	42,971,923
		負債及び資本合計	47,372,544

中間損益計算書(単独)

		2001年4月1日から2001年9月30日まで	
		(単位：千円)	
(経常損益の部)			
営業損益の部：			
営業収益	13,945,428		
売上高	13,945,428		
営業費用	14,284,452		
売上原価	10,626,177		
販売費及び一般管理費	3,658,275		
営業損失	339,024		
営業外損益の部：			
営業外収益	616,983		
受取利息	80,483		
受取配当金	509,370		
その他	27,130		
営業外費用	97,685		
支払利息	3,131		
有価証券評価損	39,363		
その他	55,190		
経常利益	180,273		
(特別損益の部)			
特別利益	505,602		
私財受贈益	300,000		
営業権譲渡益	192,200		
その他	13,402		
特別損失	141,803		
税引前中間純利益	544,072		
法人税、住民税及び事業税	17,000		
法人税等調整額	41,723		
中間純利益	485,349		
前期繰越利益	351,876		
中間配当額	—		
中間配当に伴う利益準備金積立額	—		
中間未処分利益	837,226		



本社(大和堂島ビル1・6・7階)



細江工場

本社		〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1-4-16	06-6345-9800
工場	細江工場	〒 431-1304	静岡県引佐郡細江町中川 2036-1	053-523-0230
	都田工場	〒 431-2103	浜松市新都田 1-5-3	053-428-5141
	高丘工場	〒 433-8118	浜松市高丘西 2-9-15	053-437-3111
	伊左地工場	〒 431-1111	浜松市伊左地町 3005-1	053-485-1818
研究所	松本工場	〒 390-1242	松本市和田 4010-5	0263-48-0211
	浜松研究所	〒 431-1305	静岡県引佐郡細江町気賀 4141	053-523-1771
	都田試験センター	〒 431-2103	浜松市新都田 1-5-3	053-428-5141
	浜松流通センター	〒 433-8118	浜松市高丘西 4-7-19	053-437-3113
営業所	札幌営業所	〒 060-0042	札幌市中央区大通西 6-2-6	011-281-0708
	仙台営業所	〒 980-0014	仙台市青葉区本町 2-10-33	022-225-6221
	東京営業所	〒 101-0041	東京都千代田区神田須田町 2-7	03-3251-5595
	名古屋営業所	〒 460-0008	名古屋市中区栄 2-11-7	052-202-1881
	大阪営業所	〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1-4-16	06-6345-9521
	広島営業所	〒 730-0032	広島市中区立町 2-27	082-247-2731
	福岡営業所	〒 812-0011	福岡市博多区博多駅前 3-27-22	092-436-8971
	ロッテルダム（オランダ）			
海外事業所				

グループ会社（国内）

製造	ボス株式会社	〒 432-8006	浜松市大久保町 1227	053-485-7780
製造	ローランド イーディー株式会社	〒 390-1242	松本市和田 4010-5	0263-48-0211
製造販売	ローランド テック株式会社	〒 431-1111	浜松市伊左地町 3005-1	053-485-1818
販売	ローランド アイ・ピー株式会社	〒 431-1305	静岡県引佐郡細江町気賀 4141	053-522-5231
販売	エディロール株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2-9-15	053-439-1144
デザイン	スタジオ アール株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2-9-15	053-439-3321
音楽教室	ローランド ミュージック スタジオ株式会社	〒 101-0041	東京都千代田区神田須田町 2-7	03-3251-5700
製造販売	ローランド ディー . ジー . 株式会社	〒 431-2103	浜松市新都田 1-6-4	053-484-1200

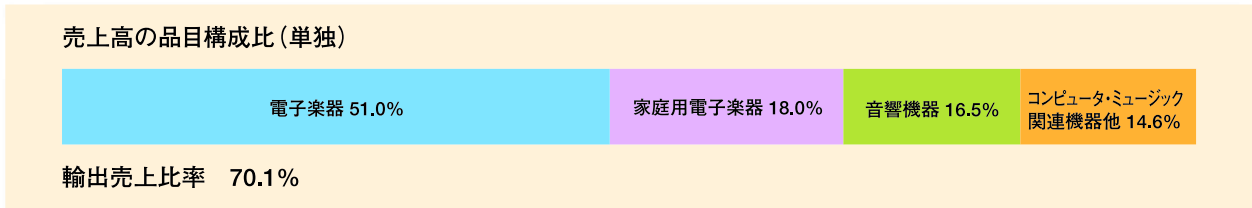
グループ会社（海外）

販売	U.S.A.	Roland Corporation U.S. Edirol Corporation North America
	Canada	Roland Canada Music Ltd.
	Brazil	Roland Brasil Ltda.
	Australia	Roland Corporation Australia Pty. Ltd.
	U.K.	Roland (U.K.) Ltd. Edirol Europe Ltd.
	Germany	Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH.
	France	Roland France S.A.
	Austria	Roland Austria GmbH
	Scandinavia (Denmark, Finland, Norway, Sweden)	Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S
	Benelux (Belgium, Holland, Luxembourg)	Roland Benelux N.V.
	Switzerland	Roland (Switzerland) AG
	Italy	Roland Italy S.p.A.
	Spain	Roland Electronics de Espana, S.A.
	Portugal	Tecnologias Musica e Audio, Roland Portugal S.A.
製造	Hungary	Intermusica Ltd.
	Taiwan	Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.
	U.S.A.	Rodgers Instruments LLC
		Roland Audio Development Corp.
	Taiwan	Roland Taiwan Electronic Music Corp.
	China	Roland Electronics (Suzhou) Co.,Ltd.
	Italy	Roland Europe S.p.A.

会社の概要

(2001 年 9 月 30 日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1 9 7 2 年 4 月 1 8 日
資本金	9, 2 7 4 百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器及びそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
売上高	1 3, 9 4 5 百万円 (2 0 0 2 年 3 月期中間単独)
従業員数	8 0 8 名



役員一覧

(2001 年 9 月 30 日現在)

取締役社長 (代表取締役)	檀 克義	取締役	上野 博司
専務取締役 (代表取締役)	新田 寛	取締役	赤松 啓至
専務取締役	菊本 忠男	取締役	近藤 公孝
常務取締役	西澤 一朗	取締役	田中 英一
常務取締役	三木 純一	常勤監査役	甲佐 諭
取締役	飯村 泰弘	常勤監査役	古河 拓
取締役	庄司 東生	監査役	上田 茂實
取締役	本村 定則	監査役	川島 実
特別顧問	梯 郁太郎 (創業者)		
会計監査人	監査法人 トーマツ		

株主メモ

決算期	3 月 31 日
定時株主総会	6 月
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
公告掲載新聞	日本経済新聞
株式名義書換停止期間	4 月 1 日から 4 月 30 日まで 随時に停止する場合は、あらかじめ公告する期間

名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目 4 番 6 号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜二丁目 4 番 6 号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 電話 大阪 06-6233-4555

同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
------	--------------------

単元株数	100 株
------	-------

■配当金口座振込のおすすめ
配当金のお受取りは、口座振込が便利です。口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。
なお、銀行口座に加えて郵便貯金口座への振込もできるようになっております。次回から口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、当社名義書換代理人（株式会社だいこう証券ビジネス）に「配当金振込指定書」をご請求ください。

株式の状況

(2001 年 9 月 30 日現在)

■発行する株式の総数	50,000,000 株
■発行済株式の総数	25,572,404 株
■株主数	5,695 名
■大株主	

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)	持株数 (千株)	持株比率 (%)
梯 郁太郎	3,084	12.1	—	—
バイオニア株式会社	2,319	9.1	—	—
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウンタリカンクライアント (常任代理人 株式会社東京三菱銀行)	1,889	7.4	—	—
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.2	—	—
株式会社 大和銀行	802	3.1	1,984	0.1
三菱信託銀行株式会社(信託口)	767	3.0	—	—
ローランド社員持株会	708	2.8	—	—
ボストンセーフデポジットビーエスディーティーローティー クライアント オムニバス アカunt (常任代理人 株式会社東京三菱銀行)	511	2.0	—	—
ザチエースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエル オムニバス アカunt (常任代理人 株式会社富士銀行兜町カストディ業務室)	432	1.7	—	—
ザ チエース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン (常任代理人 株式会社富士銀行兜町カストディ業務室)	358	1.4	—	—



 **Roland**
WE DESIGN THE FUTURE
<http://www.roland.co.jp/>